



JAPAN MONKEY CENTRE

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 2枚

送信日 2024年 10月11日

10/17(木)動物慰霊祭を執りおこないます

例年、創立記念日に、これまでに日本モンキーセンターで亡くなったすべての動物たちに感謝の意を表し、動物慰霊祭を執りおこなっております。この1年間では22種39頭の霊長類が亡くなり、今年は計6,854頭を供養します(2024年10月10日現在)。霊長類以外の飼育動物たちも併せて供養いたします。

今年、日本モンキーセンターは68回目の創立記念日を迎えます。この慰霊祭では、飼育担当者はもちろん、学部や事務部のスタッフも全員が順次参列し、手づくりで心のこもった進行を計画しています。来園者のみなさまも、果物や野菜、栗やどんぐり、樹木の苗木などの「お供えもの」を持ってご参列いただけます。お供えものは後日、飼育している動物たちのために役立てます。お供えもの(リンゴ、ミカン、マンゴー、メロンなどの果物類、サツマイモ、葉物、根菜類、栗やどんぐりなどの堅果、動物用の遊具や採食装置(食材が入る道具やおもちゃ)※市販の新品のみ、樹木の苗木、など)の受け付けは、10月12日(土)から開始し、慰霊祭の当日の10月17日(木)13時まで行っております。※宅配でも受け付けます。

多くの方に慰霊祭を知って頂きたく、貴メディアにてご紹介いただければ幸いです。

創立68周年・動物慰霊祭 概要

日時：2024年10月17日(木)13時00分～(雨天決行)

場所：日本モンキーセンター ビジターセンター左手奥 動物慰霊碑(猿塚)前

進行：附属動物園部長 綿貫 宏史朗

プログラム：

13時～ 開祭挨拶 下村 実(日本モンキーセンター・動物園長)

ボイスメッセージ 竹下 景子(女優、日本モンキーセンター親善大使)

動物たちへ感謝のことば 堀川 晴喜(飼育員)

13時15分～ 献花、献果

13時30分頃 終了

資料：この1年で亡くなった霊長類（一部）

写真：ギボンハウス シロテテナガザル ジェニファー（♀）永眠 2024年9月9日



ジェニファーは、1985年9月28日に来園しました。推定年齢40歳以上。これまでに7頭の出産を経験した子育てのベテラン。体調を崩す直前も息子のジョージと仲良くくらししていました。老いを感じさせない、鉄棒でのアクロバティックな大車輪や大きな歌声が魅力的でした。男性飼育員に背中を触ってもらうことが大好きで、満足するまではエサを受け取らないこともしばしば。とてもマイペースな性格でした。

◆感謝の言葉読み手：堀川 晴喜（ほりかわ はるき）

ギボンハウス（テナガザル類）、モンキースクランブル（ジェフロイクモザル・フクロテナガザル）、モンキーバレイ（ヤクシマザル）等を担当。入社3年目。シロテテナガザルの飼育担当に憧れて入社し、初年度からテナガザル類を担当。シロテテナガザル・ジェニファーの定期的な注射においてかかるストレスを最小限にするため、動物に自発的に注射に協力してもらうトレーニング（ハズバンドアリー・トレーニング）に熱心に取り組んだ。

お問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

TEL：0568-61-2327 FAX：0568-62-6823 メール：info@j-monkey.jp

担当：坂口、赤見、江藤、安倍

※その他の イベント情報などは、過去のプレスリリース原稿、

または Web サイトにてご確認ください。 <https://www.j-monkey.jp/event/>